斯くて、左翼は實踐的には社會ファシストに對する十分に統一ある闘爭を行つてゐなかつた。闘爭は主として、個々に各府縣聯合會、青年部本部、青年部東部協議會、等によつて、除名反對聲明、解体反對聲明の形で行はれた。闘爭の統一の地方協議會の確立とその全國的連絡は未た實現の過渡にあつた。この期間の多くの闘爭は未た遠心式時内にあつた。具体的に要求を掲げて大衆的に迫ることか十分なされなかつた。

四月の第二回中央委員會に於ける左翼派の退場、擴大中央委員會のボイコット、七月の第三回中央委員會のボイコットの理由の中には強く批判を要する日和見主義の殘存を認めなければならぬ。六月十五日右翼派の召集し青年部北海道東北聯東代表者會議を粉碎するために召集された左翼指導下の青年部東部協議會か會場て完全に社會ファッストを狼狽せしめ、彼等の會議を開會不能に陥らしめておき乍ら、其場て自己の會議を即時開會することをせず彼等の會議を

[illegible]